

日本史籍講読6－III

科目ナンバリング JPH-411
選択必修 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

幕末維新期に記された史料をテキストとして、史料の読解力を養い、史料の背景にある時代状況や地域の在りようについて調査・考察する力を身につける。幕末に製鉄所(造船所)の建設が開始された横須賀に関わる史料を取り上げ、それを読解するとともに、幕末における新しい知識や技術受容の在り方、そこに関わる人々や地域社会の動向について考察を深める。前半は史料の読み方や内容を少しずつ確認しながら全員で輪読し、後半は担当者による発表により授業を進める。

2. 授業の到達目標

近世史料の読解力を養うとともに、関連する史料や文献の探し方、調べ方を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

- ① 予習に基づいた、毎回の授業への参加度(20%)
- ② 発表担当の際の準備度合いおよびその発表内容(40%)
- ③ 春期末に行う筆記試験(40%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

若尾俊平 図録 古文書入門事典 柏書房
保谷徹 幕末維新論集 幕末維新と情報 吉川弘文館
井上勲 日本の時代史 20 開国と幕末の動乱 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

- ・授業内で予習プリントを配布する。それに沿って各自で読み方や意味を調べ、文意を把握し、次の授業に臨む。
- ・必要に応じて他の史料や参考文献にあたり、背景となる政治や社会状況についても説明できるようにする。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回の予習は必須である。
- ・史料の読み方や内容を確認し、分からないところをはっきりさせた上で授業に出席すること。
- ・議論へも積極的に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容・進め方・評価等についてのガイダンス／史料の紹介(オンライン)
- 【第2回】 史料の読解と周辺情報の整理①(辞書等の使い方等)／史料の分担・発表の順番決定
- 【第3回】 史料の読解と周辺情報の整理②(近世史料の表記について等)
- 【第4回】 史料の読解と周辺情報の整理③(読解に必要な基礎知識)
- 【第5回】 史料の読解と周辺情報の整理④(近世史料の書き下しについて等)
- 【第6回】 史料の読解と周辺情報の整理⑤(近世史料の書き下しについて等)
- 【第7回】 史料の分担箇所を読み進める(オンライン)
- 【第8回】 発表と質疑応答①
- 【第9回】 発表と質疑応答②
- 【第10回】 発表と質疑応答③
- 【第11回】 発表と質疑応答④
- 【第12回】 発表と質疑応答⑤
- 【第13回】 発表と質疑応答⑥
- 【第14回】 発表と質疑応答⑦および試験
- 【第15回】 試験の返却と解答の確認を通した授業のまとめ